

農業事務会計

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
農文協「農業会計」	2	3年(選択D)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	複式簿記を学ぶためには、わかりやすい商業簿記を学び、商業簿記から複式簿記へ展開する。 ・商業簿記を学ぶなかで、資格試験範囲を元に進めて行くので資格取得を目指した学習する。 ・より上位級を目指し積極的に取り組むこと。 ・簿記の仕組みを理解して、基本的な処理の流れを身につけること。
---------	--

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	会計とは	1	・商業簿記と複式簿記の違いについて学習する。 特に商業簿記会計について学習する。	○			○	授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況
		企業経済と農家経済のしくみ		・企業経済のしくみについて学習する。	○	○		○	
		簿記の基本		・農家経済のしくみについて学習する。 二つの仕組みを理解して簿記会計の基本を学習する。	○		○		
				・簿記4級程度の問題を利用して簿記の基本を学習する。	○		○		
	5	勘定科目と元帳	1	・簿記4級の問題を利用して勘定科目を学習する。	○			○	授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況
		資産・負債・資本 (ここでは4級の範囲で学習する。)		・4級の範囲で重要な資産・負債・資本の関係を学習する。	○	○		○	
		練習問題を活用して学習する。		・4級の範囲の中で勘定科目を理解する中で、 資産・負債・資本に分けることができるように学習する。		○		○	
	6	取引・仕分・転記	1	・簿記4級の問題を利用して取引の基本を学習する。	○			○	授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況
				・取引について学習する。		○	○		
				・簿記4級の問題を利用して仕分について学習する。 ・簿記4級の問題を利用して転記について学習する。	○		○	○	
前 期 中 間 考 査								○	定期考査
7	決算処理	2	・簿記4級の問題を利用して簿記の決算処理を学習する。	○	○	○	○	授業態度 授業反省用紙提出 小テスト実施 (範囲は4級程度)	
			・簿記4級の範囲の清算表について学習する。(6桁清算表)	○		○			
			・簿記4級の範囲の試算表について学習する。	○	○				
8	簿記4級程度問題復習	4	・これまで学習した簿記の範囲について実際に問題を解きながら学習する。(資格取得を目指す練習)		○	○	○	小テスト実施	
9	勘定科目と元帳	4	・簿記3級程度の勘定科目について学習する。	○	○	○	○		
			・勘定科目を資産・負債・資本の関係を学習する。	○	○	○			
前 期 末 考 査						○		○	定期考査
後期	10	商品の売買	3	・簿記3級の問題を利用して商品売買の基本を学習する。	○			○	授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況
		現金と当座預金		・現金の取り扱いと当座預金の関係について学習する。 転記や記載方法について学習する。	○	○		○	
	11	手形取引	2	・簿記3級の問題を利用して基本を学習する。	○	○		○	授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況
				・約束手形取引について学習する。 ・為替手形取引について学習する。 ・手形割引と裏書譲渡について学習する。 ・手形記入帳について学習する。	○	○	○	○	
後 期 中 間 考 査								○	定期考査

後期	12	債権債務	5	簿記3級の問題を利用して以下の債権債務を学習する。 手形貸付金・手形借入金・未収金・未払金 前払金・前受金・仮払金・仮受金・立替金・預り金 引出金・税金	○	○	○	○	授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況
	1	有価証券・有形固定資産	2 2	簿記3級の問題を利用して以下の有価証券を学習する。 有価証券の取引について学習する。 有形固定資産の取引について学習する。	○	○			授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況
	2	決算	2 2 2 1	簿記3級の問題を利用して以下の決算について学習する。 決算整理記入について学習する。 売上げ原価計算について学習する。 清算表(8桁)について学習する。 損益計算書・貸借対照表について学習する。	○	○			授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況
	学 年 末 考 査								○ 定期考査
	3	全体復習 農産物の原価計算 農業者法人の会計について	4 1 1	簿記3級の問題を活用して問題を解きながら学習する。 農産物原価計算について学習をする。 農業者法人会計について理念や種類について学習する。	○	○	○	○	授業態度 授業反省用紙提出 課題取組状況

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技 能	④知識・理解
内 容	商業簿記会計の基本を理解しようと積極的に課題に取り組み、自ら資格取得へ向けた学習を進めて上位級へチャレンジすること。	与えられた課題に対して、自ら考 え、意見をまとめ毎時間ごとの反省や学習内容をまとめて提出すること。	資格取得へ向けた積極的な取組と問題を進めて行く内容や資格取得へチャレンジすること。	定期考査年間4回と毎時間ごとの課題と一緒に提出する反省や学習のポイントについて取り組むこと。
割 合	15 %(点)	15 %(点)	20 %(点)	50 %(点)

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 商業簿記は、全国経理教育協会の問題集を活用して学習を行います。授業の中で学んだことを資格取得へ向けて取り組むこと。
- (2) 少し言葉やルールを理解するまで簿記を学んでいる意味は理解できないかもしれませんが、途中で投げ出さず、意欲的に取り組むこと。
- (3) 毎週2時しかないので、忘れてしまうことが多いと思いますので、予習・復習に取り組むこと。

評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

学年末評定について

評定	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0